



**2018年3月期（第51期）**

---

# **決算説明会**

2018年5月23日

**株式会社エヌアイデイ**

# 目次

## 1. 会社概要

## 2. 2018年3月期決算概要

## 3. 中期経営計画の進捗状況

## 4. 2019年3月期通期見通し

## 付録：データ資料

この資料に掲載しております当社の計画及び予想、戦略などは、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本経済や情報処理業界の動向、新たなサービスや技術の進展、不確定要素などにより、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことを、あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

# 1. 会社概要

# 会社概要

社名	株式会社エヌアイデイ (英社名：Nippon Information Development Co.,Ltd.)
所在地	東京都中央区晴海1-8-10
設立	1967年5月
資本金	6億5,335万円 (2018年3月末現在)
事業内容	インバウンドソリューション事業、ICTイノベーション事業、 ファイナンスシステム事業、ネットワークソリューション事業、その他事業
社員数	連結：1,412名 単体：960名 (2018年3月末現在)
発行済株式数	4,369,830株
株主数	914名 (2018年3月末現在)

# 事業の概要

## 当社グループ

### 連結子会社 (3社)

#### NID・MI

- ・インバッドソリューション事業
- ・ICTイノベーション事業
- ・ファイナルシステム事業
- ・その他事業

#### NID東北

- ・インバッドソリューション事業
- ・ICTイノベーション事業

#### NID・IE

- ・その他事業

### 当社

## エヌアイディ

- ・インバッドソリューション事業
- ・ICTイノベーション事業
- ・ファイナルシステム事業
- ・ネットワークソリューション事業
- ・その他事業

<サービスの流れ>  
・開発ソフトウェア納品  
・IT技術者派遣



<資金の流れ>

<サービスの流れ>  
・開発ソフトウェア納品  
・IT技術者派遣



<資金の流れ>

お客様

<サービスの流れ>  
・開発ソフトウェア納品  
・IT技術者派遣



<資金の流れ>

ビジネスパートナー

## 2. 2018年3月期決算概要

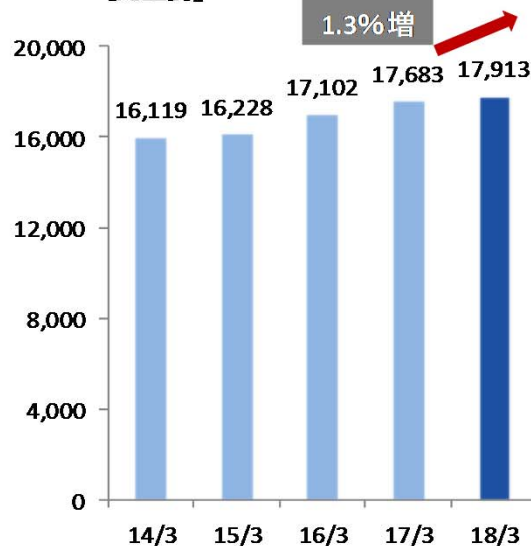
# 2018年3月期決算の概況

(単位：百万円)

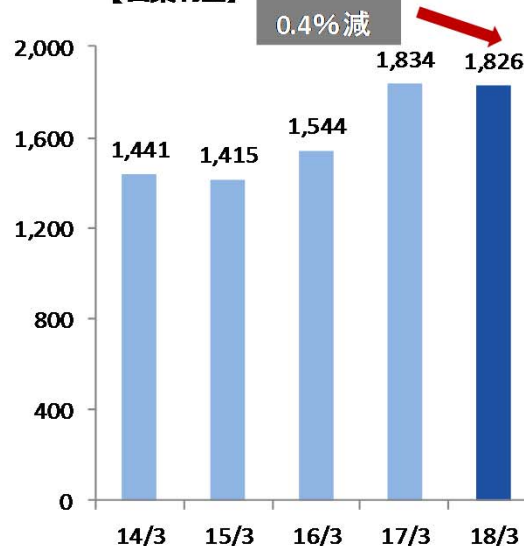
	2017年3月期 実績	2018年3月期 期初予想	2018年3月期 実績	
			前期比	予想比
売上高	17,683	18,000	17,913	+1.3% △0.5%
営業利益	1,834 (10.4%)	1,620 (9.0%)	1,826 (10.2%)	△0.4% <b>+12.8%</b>
経常利益	1,967 (11.1%)	1,720 (9.6%)	2,015 (11.2%)	+2.4% <b>+17.2%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,304 (7.4%)	1,190 (6.6%)	1,362 (7.6%)	+4.4% <b>+14.5%</b>

予想比の大きな差異については、次頁で補足

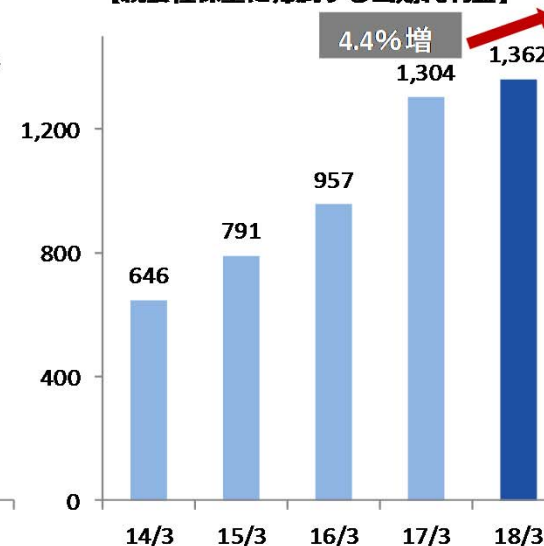
【売上高】



【営業利益】



【親会社株主に帰属する当期純利益】



# 連結P/L予想比についての補足

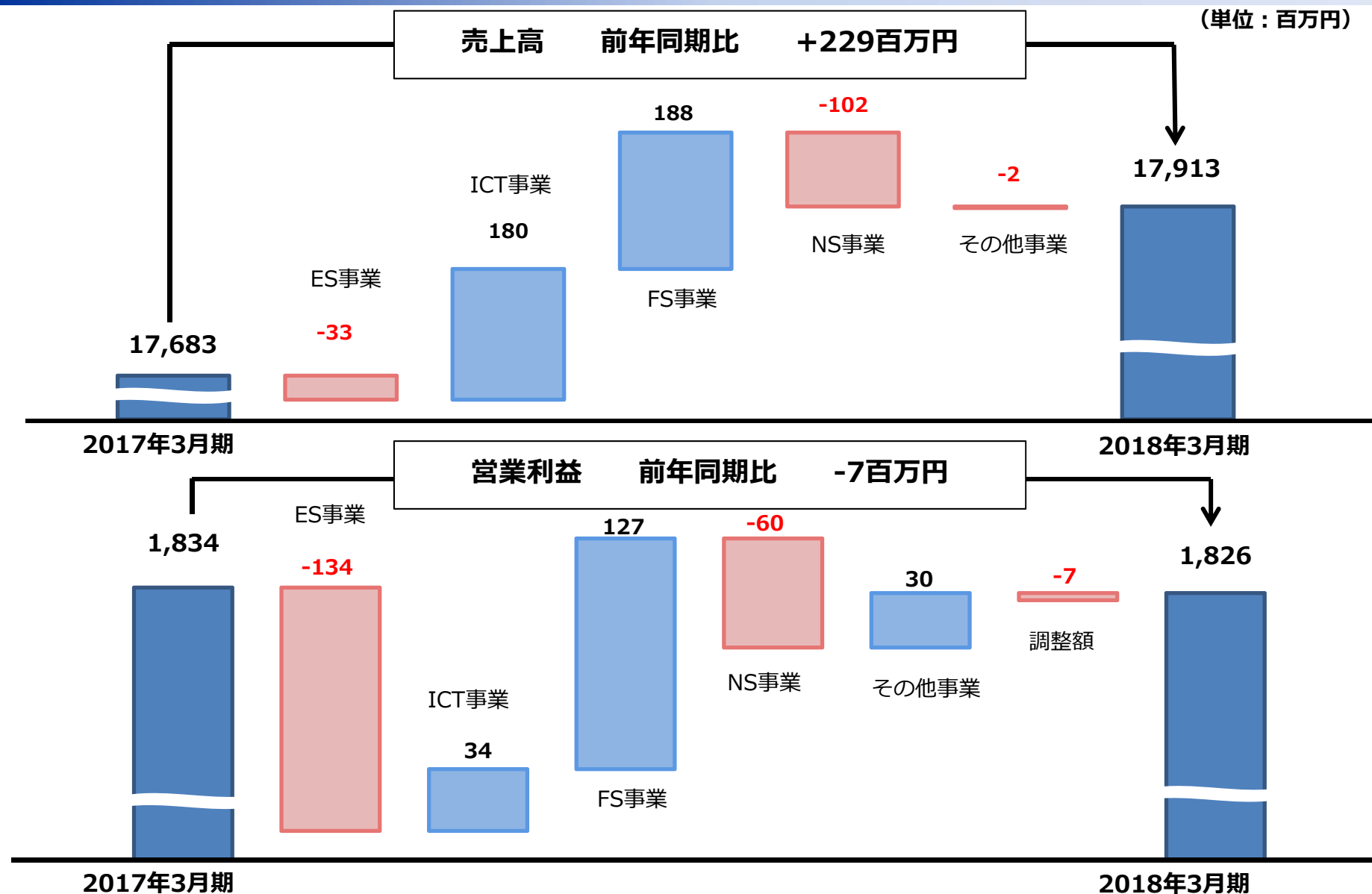
項目	対期初 予想比	主要因
① 売上総利益	+99百万	フィナンシャルシステム事業での高採算スポット案件及び生産性向上等が寄与
② 販管費	△107百万	予定していた投資の進捗ずれ (条件面やタイミングの不一致により)
③ 営業外損益	+88百万	主に投資有価証券の運用益が寄与

上記3要因により、  
税前利益ベースで対予想比約2億9千万円の増加要因となった。  
なお、①の高採算案件は当期は見込まず、  
②については、当期に実施予定。  
(詳しくは2019年3月期通期見通しにて後述)



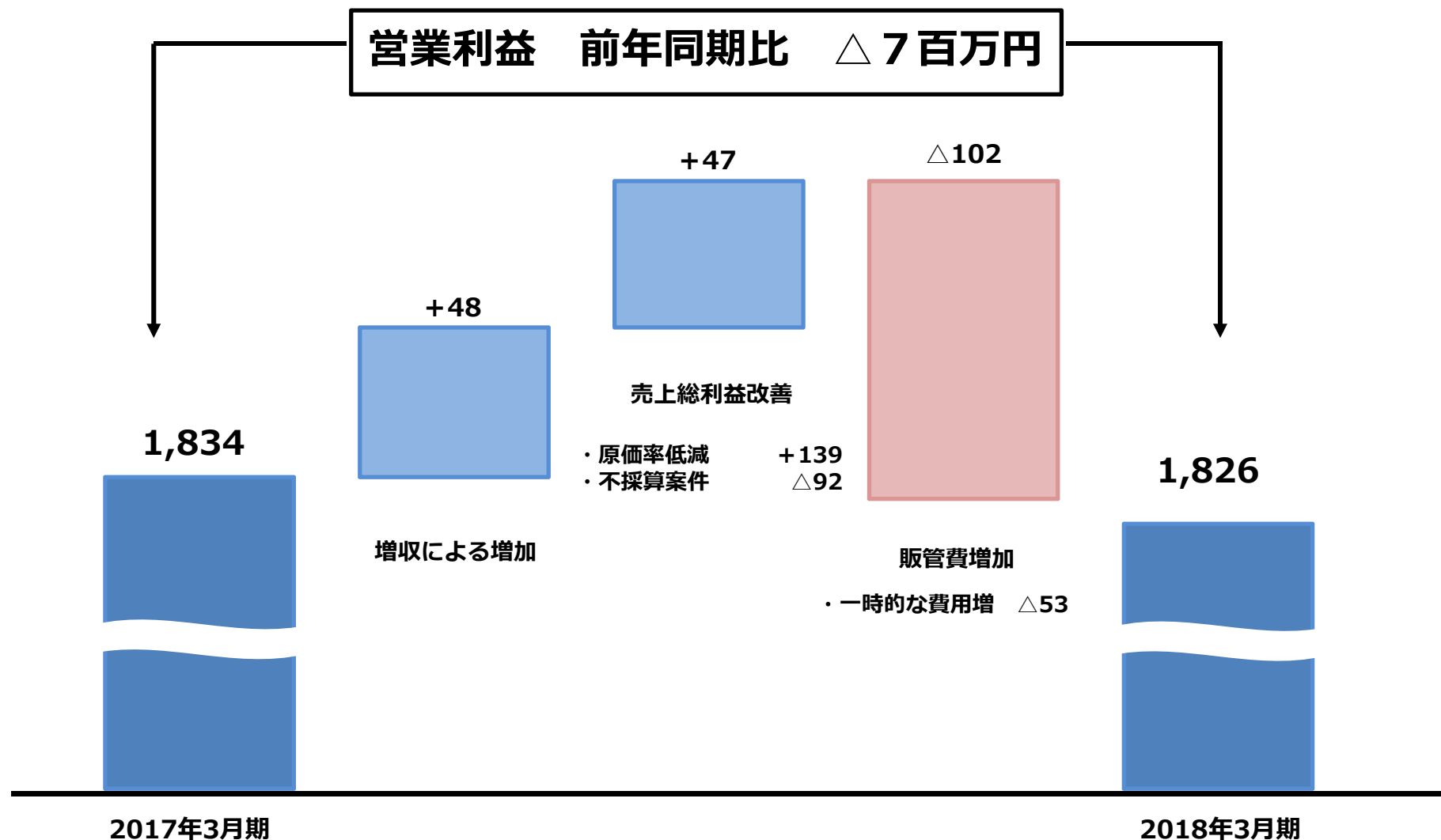
# 売上高・営業利益のセグメント別前年同期比較

(単位：百万円)



# 営業利益差異分析（前年同期比較）

（単位：百万円）



# 連結貸借対照表

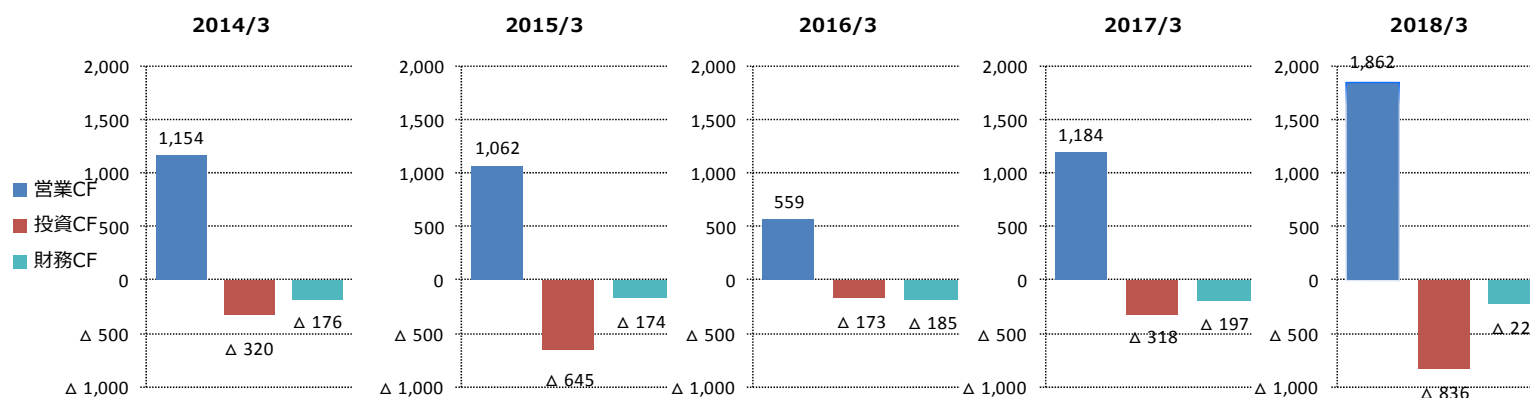
(単位：百万円)

	2017年 3月末	2018年 3月末	増減額	主な増減要因
流動資産	11,384 (73.1)	12,019 (71.3)	+634	現金及び預金 +1,005
固定資産	4,184 (26.9)	4,848 (28.7)	+663	投資有価証券 +630
資産合計	15,569 (100.0)	16,867 (100.0)	+1,298	
流動負債	2,431 (15.6)	2,490 (14.8)	+59	未払金 +45 預り金 +64
固定負債	2,884 (18.5)	2,957 (17.5)	+72	退職給付に係る負債 +47
負債合計	5,315 (34.1)	5,448 (32.3)	+132	
純資産合計	10,253 (65.9)	11,419 (67.7)	+1,165	利益剰余金 +1,143
負債純資産合計	15,569 (100.0)	16,867 (100.0)	+1,298	

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	増減額	主な増減要因
営業活動によるCF	1,184	1,862	+678	税金等調整前当期純利益 +72 売上債権の増減額 +857 たな卸資産の増減額 △53
投資活動によるCF	△ 318	△ 836	△ 518	有価証券の取得による支出 △200 投資有価証券の取得による支出 △57 投資有価証券の売却及び償還による収入 △305
財務活動によるCF	△ 197	△ 227	△ 29	配当金の支払額 △30
現金及び現金同等物期末残高	7,142	7,940		



# セグメント別売上・利益構成

(単位：百万円)

セグメント名	2017年3月期 実績		2018年3月期 11/15発表業績見通し		2018年3月期 実績			前期比		予想比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	売上高	営業利益
エンベデッド ソリューション事業	2,990	279	3,002	151	2,956	144	4.9%	△1.1%	△48.3%	△1.5%	△4.2%
ICT イノベーション事業	3,700	331	3,848	323	3,880	365	9.4%	+4.9%	+10.3%	+0.9%	+13.2%
フィナンシャル システム事業	4,274	662	4,340	681	4,462	790	17.7%	+4.4%	+19.3%	+2.8%	+16.1%
ネットワーク ソリューション事業	5,105	463	5,187	356	5,002	403	8.1%	△2.0%	△13.0%	△3.6%	+13.4%
その他事業	1,612	86	1,621	87	1,610	117	7.3%	△0.1%	+35.3%	△0.6%	+34.5%
連結計	17,683	1,834	18,000	1,620	17,913	1,826	10.2%	+1.3%	△0.4%	△0.5%	+12.8%

# エンベデッドソリューション事業

## ■売上高、営業利益

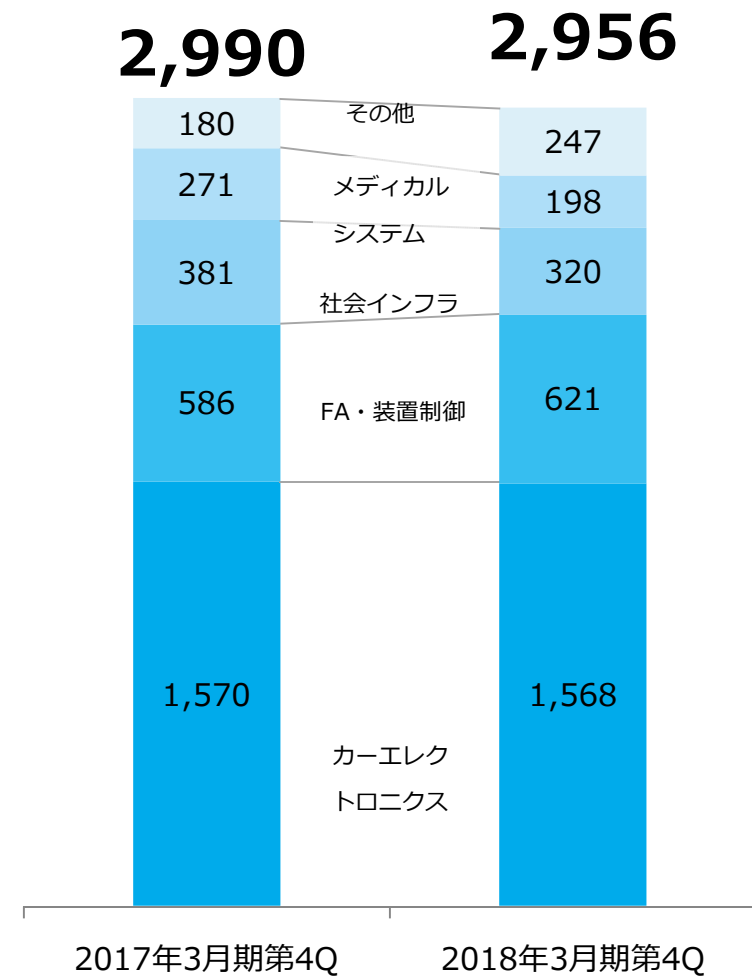
	2017年 3月期	2018年 3月期	前期比
売上高	2,990	2,956	△1.1%
営業利益 (営業利益率)	279 (9.3%)	144 (4.9%)	△48.3%

## ■分野別売上高構成

カーエレクトロ ニクス	1,570	1,568	△0.1%
FA・装置制御	586	621	5.8%
社会インフラ	381	320	△16.0%
メディカル システム	271	198	△26.8%
その他	180	247	37.1%

## ■売上高

(単位：百万円)



# ICTイノベーション事業

## ■売上高、営業利益

	2017年 3月期	2018年 3月期	前期比
売上高	3,700	3,880	+4.9%
営業利益 (営業利益率)	331 (8.9%)	365 (9.4%)	+10.3%

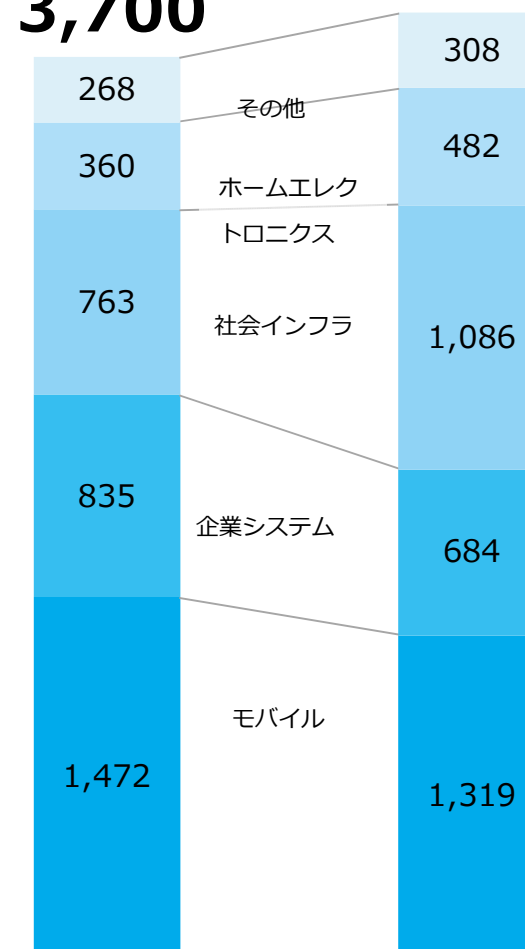
## ■分野別売上高構成

モバイル	1,472	1,319	△10.4%
社会インフラ	763	1,086	+42.3%
企業システム	835	684	△18.1%
ホームエレクトロ ニクス	360	482	+33.7%
その他	268	308	+14.9%

## ■売上高

(単位：百万円)

3,700      3,880



2017年3月期第4Q

2018年3月期第4Q

# フィナンシャルシステム事業

## ■売上高、営業利益

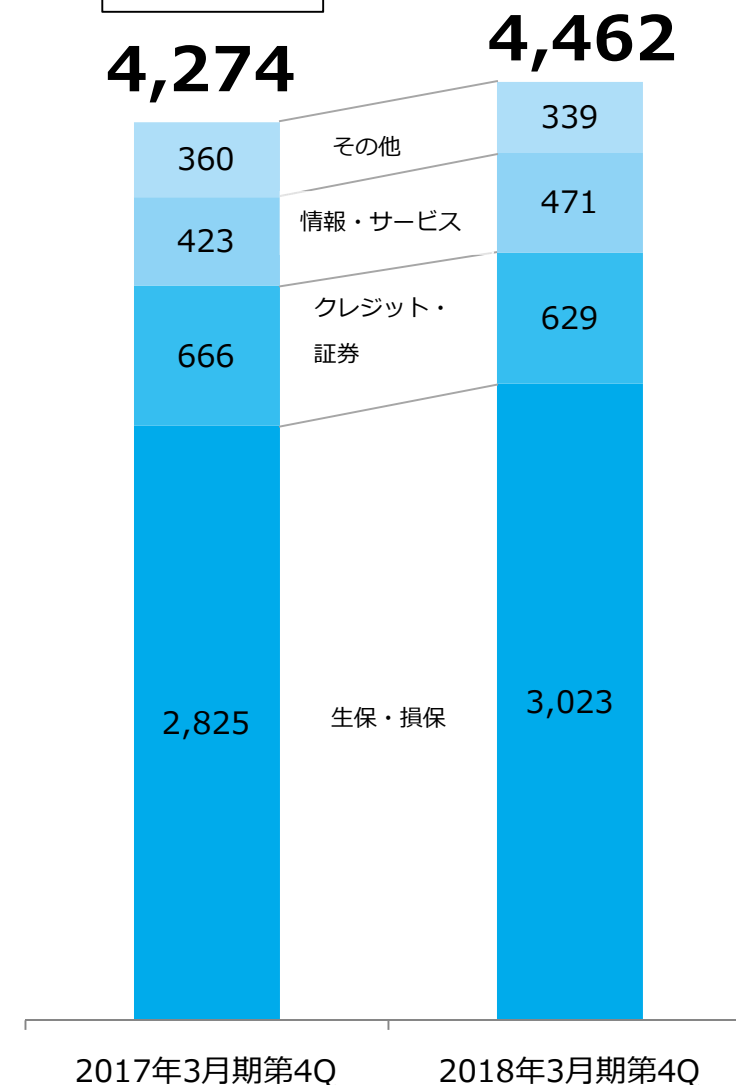
	2017年 3月期	2018年 3月期	前期比
売上高	4,274	4,462	+4.4%
営業利益 (営業利益率)	662 (15.5%)	790 (17.7%)	+19.3%

## ■分野別売上高構成

生保・損保	2,825	3,023	+7.0%
クレジット・証券	666	629	△5.5%
情報・サービス	423	471	11.3%
その他	360	339	△5.8%

## ■売上高

(単位：百万円)





# ネットワークソリューション事業

## ■売上高、営業利益

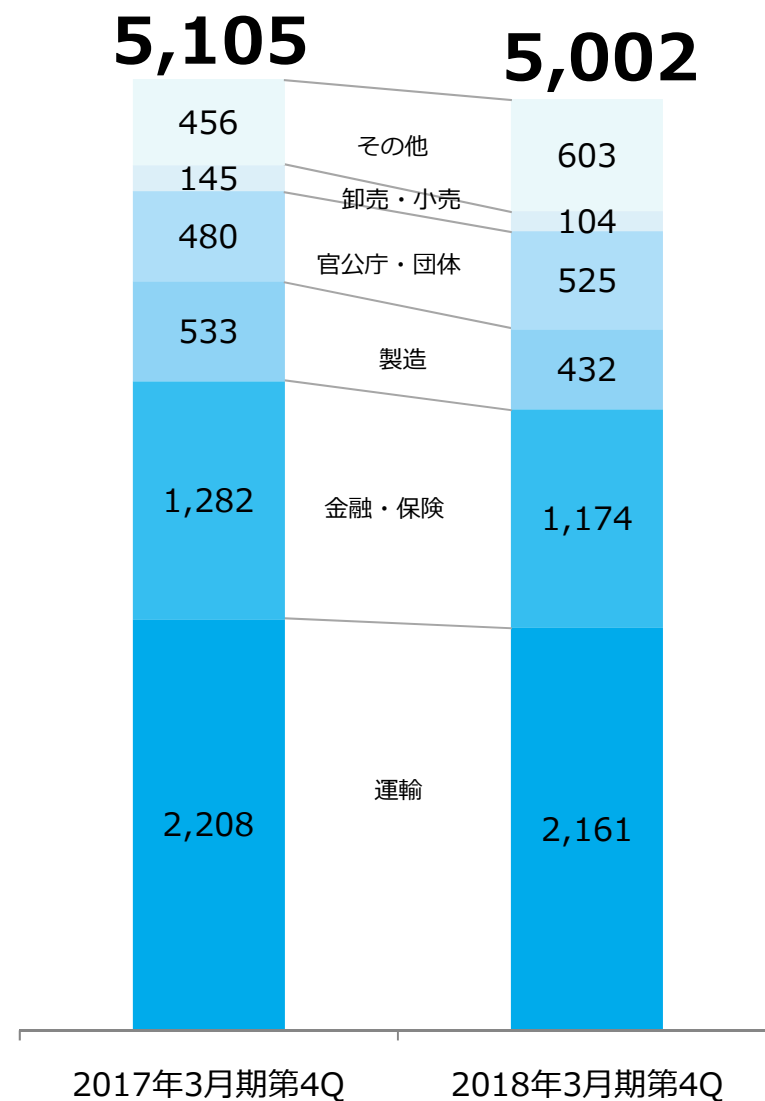
	2017年 3月期	2018年 3月期	前期比
売上高	<b>5,105</b>	<b>5,002</b>	△2.0%
営業利益 (営業利益率)	<b>463</b> (9.1%)	<b>403</b> (8.1%)	△13.0%

## ■分野別売上高構成

運輸	<b>2,208</b>	<b>2,161</b>	△2.1%
金融・保険	<b>1,282</b>	<b>1,174</b>	△8.4%
官公庁・団体	<b>480</b>	<b>525</b>	+9.5%
製造	<b>533</b>	<b>432</b>	△18.9%
卸売・小売	<b>145</b>	<b>104</b>	△27.8%
その他	<b>456</b>	<b>603</b>	+32.4%

## ■売上高

(単位：百万円)



# その他事業

## ■売上高、営業利益

	2017年 3月期	2018年 3月期	前期比
売上高	1,612	1,610	△0.1%
営業利益 (営業利益率)	86 (5.4%)	117 (7.3%)	+35.3%

## ■分野別売上高構成

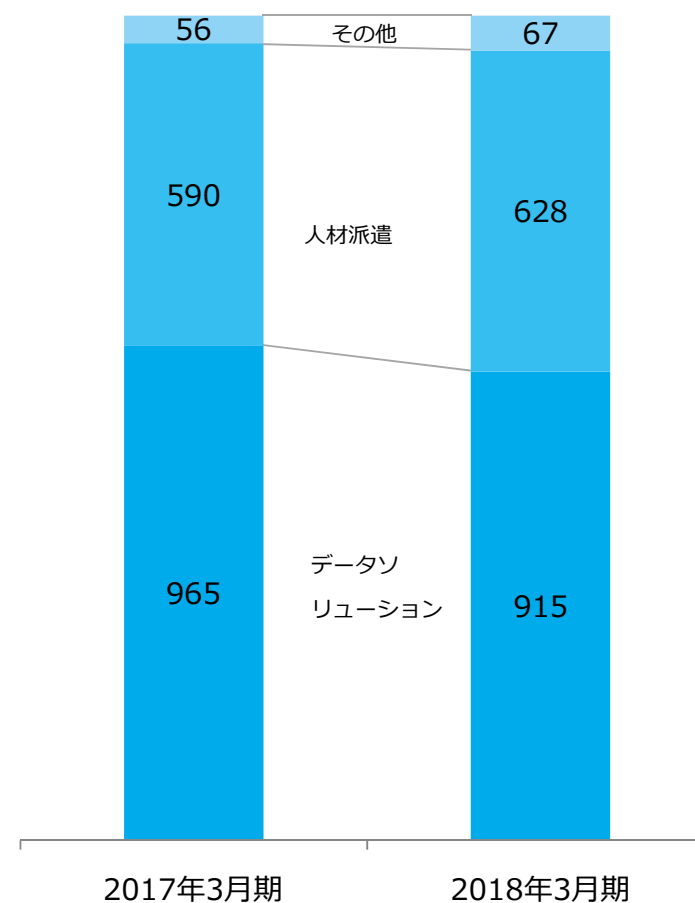
データ ソリューション	965	915	△5.2%
人材派遣	590	628	+6.3%
プロダクト	56	67	+19.7%

(単位：百万円)

## ■売上高

(単位：百万円)

1,612      1,610



# 3. 中期経営計画の進捗状況



~Smile2020~

## 中期経営計画策定時の想定

① 市場環境	国内ITサービス市場の成長は今後鈍化。既存の受託開発システムは縮小。一方、IoT、AI、ビッグデータ、クラウドなどは伸長。
② 顧客動向	IT投資は企業の競争力強化（攻めのIT）へシフト（事業の差別化・柔軟でスピードある変革）
③ 社会環境	生産年齢人口は今後大きく減少

## 2年目を迎える 足許の状況についての認識

想定に変化なし。

「攻めのIT投資」へのシフトは一層鮮明に（ITを活用したビジネスモデル変革への向けた投資）。

想定に変化なし。

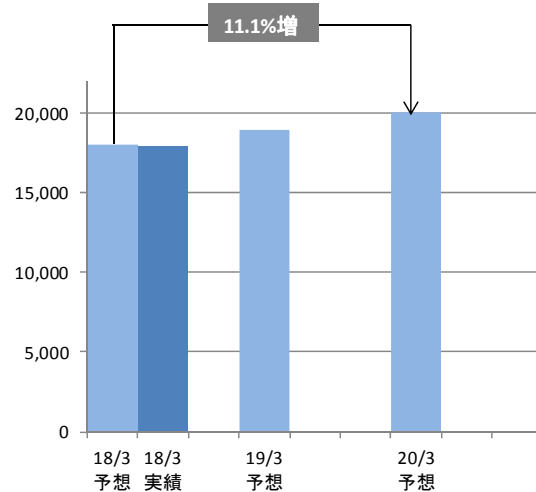
- 顧客がコストとしての「守りのIT」を減少させ、投資としての「攻めのIT」を増加させる傾向はより顕著に。

# 中期経営計画～財務目標の進捗状況

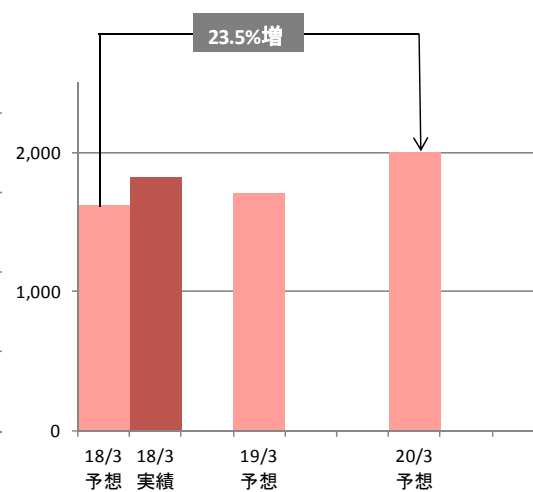
(単位：百万円)

	2018年3月期 予想	2018年3月期 実績		2019年3月期 予想	2020年3月期 目標	
			達成率			18年3月期 予想比
売上高	18,000	17,913	99.5%	18,900	20,000	+11.1%
営業利益	1,620 (9.0%)	1,826 (10.2%)	112.8%	1,700 (9.0%)	2,000 (10.0%)	+23.5%

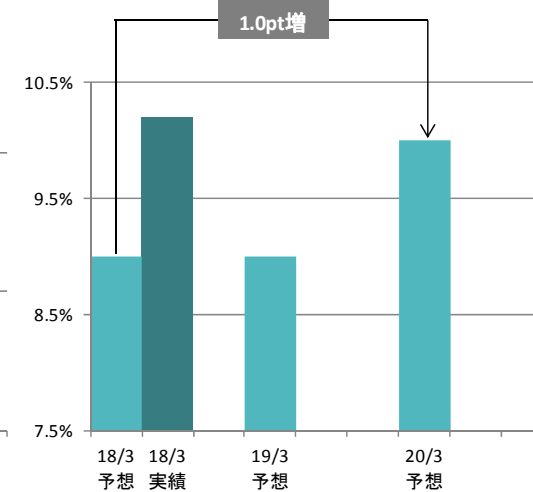
【売上高】



【営業利益】



【営業利益率】



# 中期経営計画～戦略ごとの活動状況

## <AI戦略>

ES事業／ICT事業／FS事業／NS事業

- 複数の研究開発案件に着手、中計期間中の収益化を目指す
- 大学やベンチャー企業等との協業により自然言語解析、画像解析等4件の研究開発案件に着手し、人材育成を加速。

## <クラウド・インテグレーション戦略>

ICT事業／NS事業

- クラウド環境を利用した開発ニーズ旺盛、順調に進捗
- ICT事業ではSaaS(\*)、PaaS(\*)案件、NS事業ではIaaS(\*)案件の受注が好調。次年度以降、開発や構築後の保守まで提案できる体制を整え、受注拡大を目指す。
- AWS認定資格者増強計画は初年度の目標達成。コンサル業務の提供開始。

(\*) SaaS・・・Software as a Service ソフトウェアをインターネット上でサービスとして提供

(\*) PaaS・・・Platform as a Service 開発プラットフォーム一式をインターネット上のサービスとして提供

(\*) IaaS・・・Infrastructure as a Service 仮想サーバやネットワークなどのインフラをインターネット上のサービスとして提供

# 中期経営計画～戦略ごとの活動状況

## <IoT&スマートファクトリー戦略>

ICT事業

- 大手メーカー顧客より各種センサー関連案件を複数受注
- データサイエンティストに対する需要が旺盛。データサイエンティスト育成を強化。
- 大学との協業によりIoTサービス関連の研究開発に着手。

## <自動車CASE(\*)戦略 >

ES事業

- 大手国内メーカーからの受注が伸長
- 先進運転支援・自動運転に代表される車載エレクトロニクス人材に対する需要が旺盛。SoC(\*)人材育成に着手。MBD(モデルベース開発)人材育成を強化中。

(\*)CASE・・・コネクティビティ(接続性)の「C」、オートノマス(自動運転)の「A」、シェアード(共有)の「S」、エレクトリック(電動化)の「E」  
(\*)SoC・・・System-on-a-chip ある装置やシステムの動作に必要な機能のすべてを、一つの半導体チップに実装する方式。

## <プライムアカウント戦略>

ES事業/ICT事業/FS事業/NS事業/その他事業

- 複数の主要顧客で売上高前年比増を達成
- FS事業及びICT事業において主要顧客の大型案件増が寄与。
- 他の事業では重点戦略に沿った提案で受注増。
- 顧客別アカウントプランの充実により顧客内でのプレゼンス向上を推進。

# 4. 2019年3月期通期見通し



# 2019年3月期連結業績予想

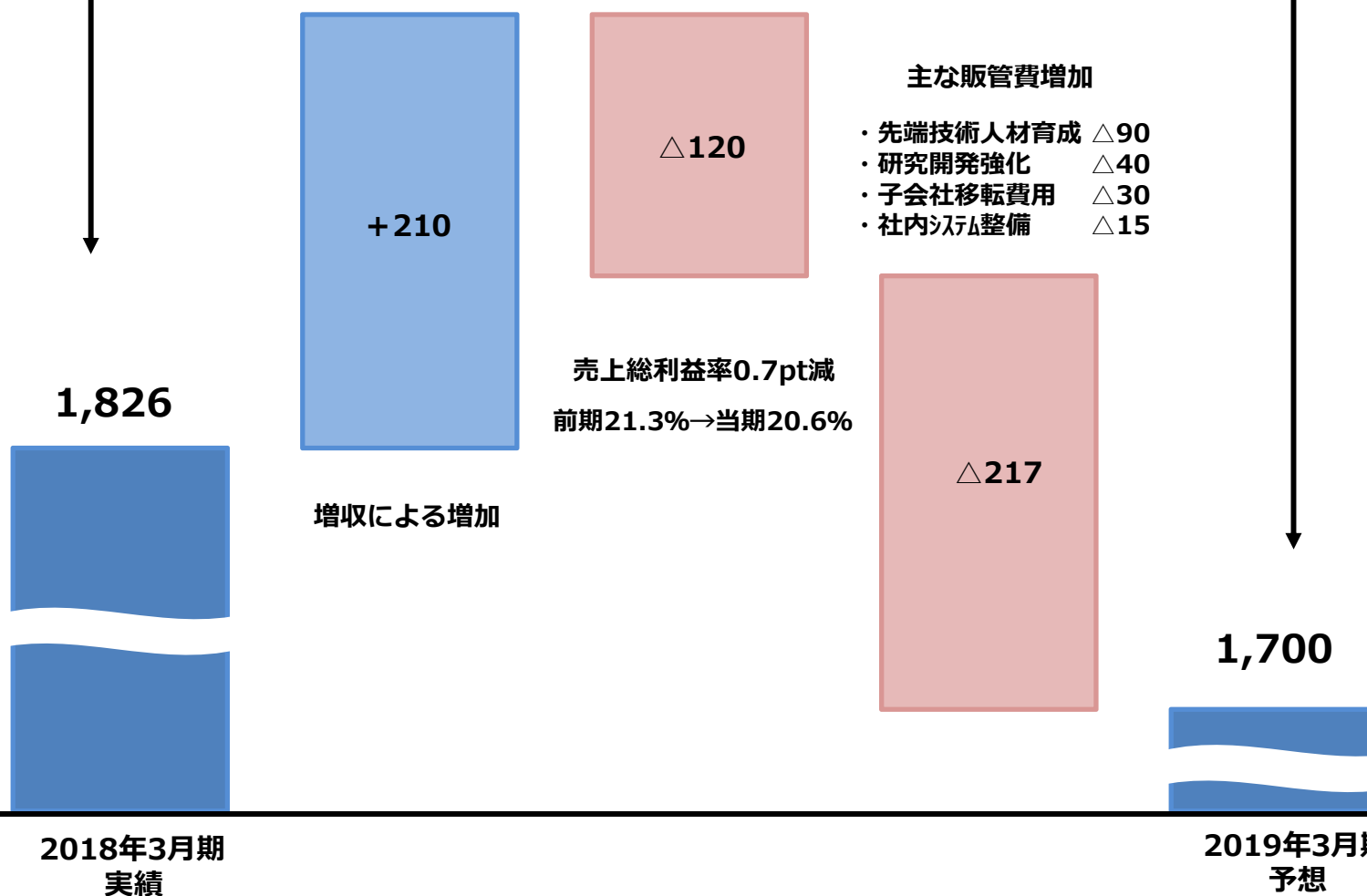
(単位：百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期	
		予想	前期比
売上高	17,913	18,900	+5.5%
営業利益	1,826 (10.2%)	1,700 (9.0%)	△6.9%
経常利益	2,015 (11.2%)	1,800 (9.5%)	△10.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,362 (7.6%)	1,240 (6.6%)	△9.0%

# 営業利益計画差異分析

(単位：百万円)

営業利益 前年同期比  $\Delta$  126百万



# セグメント別見通し

(単位：百万円)

セグメント名	2018年3月期 実績		2019年3月期 予想			前期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益
エンベデッド ソリューション事業	2,956	144	3,480	290	8.3%	+17.7%	+100.4%
ICT イノベーション事業	3,880	365	4,000	320	8.0%	+3.1%	△12.5%
フィナンシャル システム事業	4,462	790	4,520	660	14.6%	+1.3%	△16.5%
ネットワーク ソリューション事業	5,002	403	5,230	340	6.5%	+4.5%	△15.8%
その他事業	1,610	117	1,670	90	5.4%	+3.7%	△23.1%
連結計	17,913	1,826	18,900	1,700	9.0%	+5.5%	△6.9%

# 株主還元施策

- 普通配を5円増額
- 継続的な株主還元を維持しつつ、増配を予定。

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期 (予想)
年間配当金	50円	58円 (記念配5円)	58円	60円
連結配当性向	19.8%	16.8%	16.1%	18.3%

できるわけある

 NID

# 付録：データ資料

# 主要な経営指標推移

(百万円)

	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期
売上高	16,119	16,228	17,102	17,683	17,913	18,900
増減率	(+3.8)	(+0.7)	(+5.4)	(+3.4)	(+1.3)	(+5.5)
営業利益	1,441	1,415	1,544	1,834	1,826	1,700
率(対売上高)	(8.9)	(8.7)	(9.0)	(10.4)	(10.2)	(9.0)
増減率	(+42.4)	(△1.8)	(+9.1)	(+18.7)	(△0.4)	(△6.9)
経常利益	1,500	1,558	1,717	1,967	2,015	1,800
親会社株主に帰属する 当期純利益	646	791	957	1,304	1,362	1,240
率(対売上高)	(4.0)	(4.9)	(5.6)	(7.4)	(7.6)	(6.6)
増減率	(+10.4)	(+22.4)	(+21.0)	(+36.3)	(+4.4)	(△9.0)
1株あたり 当期純利益(EPS)	170.86	209.00	252.82	344.72	359.98	327.58
純資産	7,386	8,348	9,042	10,253	11,419	
株主資本利益率(ROE)	9.0	10.2	11.0	13.5	12.6	
1株あたり配当額	45円	47円	50円	58円	58円	60円

(注) うち5円記念配当